



夏の動物園は11月3日まで毎日開園しています。
9:30~17:15 (最終入園は16:00まで)

ASAHIYAMA ZOO

発行所

旭川市旭山動物園
動物図書館
☎ 36-1104

2014 夏の新入り生物たち

みっけ!

昨秋に完成したかば館は、この夏のオープンとともに新しい小さな生き物たちが仲間入りしています。アフリカでくらす生き物たちがやってきたことで、カバやキリンのふるさとのアフリカに一步近づきました。



“オオヤスデ”という名のとおり、この大きなヤスデは世界最大種。体長は20センチをこえるほど。アフリカの自然の中では、落ち葉やキノコ・動物の死がいなどを食べているんだよ。



ムダガスカルクックローチ

体の色が黄色っぽいのがオス。見比べてみてね!

別名 マダガスカルクキブリ
もともと羽がない種類で飛ぶことができない。
頭に小さなツノをもっていて、オス同士でたたかう時につかうんだ。
草食性でフルーツが大好き!



アフリカウシガエル

昆虫やサソリ・カエルなど口に入る大きさで、動くものなら何でも食べる。今はまだ小さいけれど、20センチ近くまで大きくなるよ。



ヤスデやゴキブリを見て「うわあ〜! 気持ち悪い!」
たくさんの方がそう思うかもしれませんが、でもね、ちょっと考えてみてほしいのです。

「もし、地球上から落ち葉や虫・動物たちの死がいを食べてくれる生き物が消えてしまったら、どうなることでしょうか?」

虫たちは増え放題、落ち葉は土に帰ることなく、何年も何年もつもったまま。落ち葉が土にかえらなければ、植物が育つ土さえかれば、みんなが食べている野菜だって作ることができません。野菜ができないということは豚や牛のエサにも困ってしまいます。と、いうことは…? 草かげや土の中でくらすしている小さな生き物たちも、とっても大切な役割を果たしてくれているんですね。

ここでは、アフリカの自然を支えている小さな生き物たちを展示しています。アフリカといっても、砂漠や森林・草原、さまざまな環境があります。自然の中で、どんなくらしをしているのかを想像しながら見てもらえるとうれしいです。



ずらりとならんだ水槽には、カエルやヤスデ・クモなどアフリカでくらす小さな生きものたちを展示しています。ここでは、それぞれがくらす砂地や水辺を再現しています。その環境の中で、「どんなところが好きなのかな?」「何を食べているのかな?」と、観察してみてくださいね

北海道産動物舎・とりの村・ぶっくりロードでも...

カラス北

ハシボソガラスとハシブトガラスの2種類がいるよ。どこがどうちがう? 比べてみてね!

エゾモンガ北

とっても間近で見られるよ。

エゾリス北

巣材あつめに大忙し!

オシドリ北

オスの羽が鮮やかなのは夏の間だけ!

エゾユキウサギ北

冬毛→夏毛に生えかわり中

夏の開園から展示を始めている動物たちがいます。ぜひ、会いにきてくださいね!